

(仮称)つくば市陸上競技場整備基本構想に関する市民説明会  
意見交換録③

- 1 日 時 令和3年(2021年)6月26日(土) 10:00~11:30
- 2 場 所 市民ホールとよさと
- 3 市出席者 市長、市民部長、市民部次長  
スポーツ振興課長、課員2名  
スポーツ施設整備室長、係長、係員1名
- 4 一般参加者 14名

5 内 容

(1)説明内容

令和3年4月に策定した(仮称)つくば市陸上競技場整備基本構想について説明した。

(2)質疑・意見交換(●:参加者、○:市)

●小中学生が公式記録を取れる施設を整備するとのことだが、小中学生用というのではなく、高校生や一般の利用も可能なのか。

→○高校生や一般の利用も可能です。

●陸上競技場は必要だと思う。しかし、陸上競技場単体だけではなく、既存のスポーツ施設全体も含めて、今後20~50年先まで考えて何が必要であるかといった全体計画はあるのか。施設が改修中の期間はその施設は使用できないが、そうならないような施設の整備計画はあるのか。この陸上競技場は、市の全体計画の中で、どのように位置づけられているのか。また、施設の長寿命化計画が策定されているが、スポーツ施設だけでなく、学校など様々な施設が建設される。それらの維持管理はどのように考えているのか。

→○既存の施設については、定期的に大規模修繕を行っている。工事期間中にはどうしても利用制限が生じてしまうが、そのために新たに施設を整備する計画はない。総合運動公園計画があった当時も70億円の体育館の建設計画があったが、今それに投資することはできない。施設の全体計画については、現在、公共施設マネジメントシステムを導入し、施設の老朽化具合などを分析し、長期的な修繕計画を立てる予定である。インフラ整備だけで40年間で8,000億円かかるという試算があり、どの施設をどのように整備するかは非常に重要である。一方で、新しいものを建てることは相当慎重に考える

必要があり、今回の陸上競技場については現在無い施設であるため、適切な規模で建設したいと考えている。

- 維持管理費などのトータルコストが見えない中で、なぜ今、急いで建てる必要があるのか。学校施設に200億円かかることも含めて、それらの投資結果が見えてから考えても良いのではないか。また、災害時の避難計画において、既存の体育施設等で大丈夫なのか。複合的な観点で、施設の規模や配置などをどのように考えているのかが見えない。施設の全体計画が無いのに、競技場単体で見せられても分からない。競技場建設に反対しているわけではないが、どこにどう建てるかについてはもう少し具体的な全体計画を見せてほしい。

→○避難計画については、大規模なものを建てて1か所に集中させるのではなく、リスクを分散させることも考慮して、施設のキャパや必要な職員数、非常用電源の数などを算出して、避難場所を分散させるように計画をしている。競技場については、もっと早く建ててほしいという意見もある。地域の方々や議会にもかなりの時間をかけて様々な議論を行っており、積み重ねてきた意見やこれまでの経緯を踏まえて、今般ここに陸上競技場を建てる計画を出している。これまで少しでも多くの皆様に納得してもらえよう進めてきており、議会や検討会議などで丁寧に議論している。多くの市民や市民の代表である議員からは、今回の計画について納得いただいていると思っている。

- 高エネ研の用地取得費については市が買うことになっている。議会でも利活用を前提とした議論が続けられている。R2年度補正予算で53億円、R3年度当初予算で9億円が確保されていることから、市のものになったという前提で話をすべきではないか。また、進捗速度について、抜根伐採にそれほど時間がかかるのか。抜根伐採は必要な箇所だけ行い、道路も仮設で対応できる。本当に上郷高校が良いのか。総合運動公園は住民投票までして意見交換をしているにも関わらず、この陸上競技場の説明会については2年前と今回やっただけである。ワークショップ形式で、市民と議論できる場を作ることを提案する。建設については県に要望して一緒に建てれば良いのではないか。民間の利活用などは考えているのか。

→○高エネ研の土地は、まだ市のものではない。補正予算等で計上したのは、少しでも利子を減らすために、土地開発公社に貸し付けるためである。高エネ研跡地については、今後財政的にゆとりが出るまで担保しておいて、ゆとり

ができれば施設を建てるというような余裕は今のつくば市にはない。議会においても理解してもらっている。また策定検討会議においても様々な議論をしてきており、場所についても全員が上郷高校で良いという結論になっている。ワークショップの開催となると、これまで積み上げてきた全ての議論や意見が0に戻すこととなるため、ワークショップの開催予定はない。

- 今回の計画にはたいへん期待している。上郷地区はインフラ整備を含めてだいぶ取り残されている。防災拠点としても期待している。上郷地区をどのように活性化させていくかについて意見交換をしており、できることから始めている。今回の構想が実現されればどのように活性化できるのかについて検討を始めた。競技場は必要性があるから建てるのであり、場所の問題で揉めているようでは先がない。競技場の建設を起爆剤として、上郷地区を活性化させたいと考えている。整備計画を早めてもらいたい。

→○ 計画を早めることは難しい。地域活性化については、施設を作るから活性化するのではなく、それを利用して地域でどのような活動をするのかが重要である。地域の皆様による主体的な取組が各地で行われており、今後も積極的な関わりをお願いしたい。

- 防音対策と、子供がいるので安全な道路対策をお願いしたい。

→○ 防音対策については、競技場ができれば賑やかになってしまうが、できる限り配慮したい。道路についても、今後基本計画を作る過程で整理したい。できる限りと考えているが、今と同じというわけにはいかないことはご了承ください。

- 防災拠点についての考え方が、上郷高校は地域の防災拠点か、広域的な防災拠点か。ここは小貝川流域で水害が想定されるが、屋根なしの陸上競技場よりもアリーナの方が良いのではないか。

→○ 上郷高校は、避難場所や警察・自衛隊・消防等の西エリアのサブ的な活動拠点として活用を考えている。高エネ研は、震災等の大規模災害を想定した市全体の防災拠点として考えており、主と従のような役割分担を考えている。アリーナ建設については、あれば良いと思うが、今回は競技場を建てるのが目的で、付随的役割として防災機能を付けることになっている。

- スタンドがなければ公認は取れないのか。トラックだけの整備で良ければ、非

常に安く整備できると思うが。

→○スタンドがなくても公式記録は取れるが、策定検討会議の中でも第4種公認の第3種相当整備としていることから、スタンドは整備する。大会等で人数が集まることを考えると、トラックだけでは支障があると考えている。第2種では5,000人収容のスタンドが必要であり、もっと大規模なものの要望もあるが、今回は最低限必要な規模と考えている。

●先ほど話が出たワークショップなどが無いまま進めることは残念な気がする。陸上競技場の件は仕方がないが、今後、他の計画においてはアプローチの改善を図ってもらいたい。

→○立ち止まることは重要であると思うが、陸上競技場に関しては、これまで長い時間様々な議論をしており、議会や委員会でも概ね認められている。市民の100%の納得を得られているわけではないが、多くの市民に理解してもらっており、今後の基本計画などでも意見をいただきながら、できるだけ良いものにしたい。今後も何かをしていく際には市民の意見を聞いていくつもりであるが、1つの案件について何百か所で説明会を行うことや、何年も議論することはできないので、納得してもらえない方をできるだけ減らしながら、必要な事業については進めていきたいと考えている。

●周辺の道路は歩道がないので整備してもらいたい。地域活動を活発に行っているのでも、ぜひ皆さんに来てもらいたい。

→○道路整備については検討していきたい。地域活動については、できる限り応援していきたい。